

# 東アジア学会活動記録

【2004年】

◆ 第36回定例研究会

日時：2004年4月24日（土）14時～17時30分

場所：西南学院大学 学術研究所1階 第2会議室

内容：著書を出版した会員による報告と質疑

報告1. 『『文革期の文学』とはどういうものか？』

報告者：岩佐 昌暉（九州大学大学院言語文化研究院教授）

報告2. 「文化圏類学ことはじめ」

報告者：奥山 忠政（麺文化研究会事務局長）

報告3. 「東アジア地中海経済圏」

報告者：小川 雄平（西南学院大学商学部教授）

◆ 第37回定例研究会

日時：2004年6月12日（土）13時30分～17時45分

場所：西日本新聞社会議室

シンポジウム「中国と朝鮮半島情勢」

基調報告「中国から見た朝鮮半島情勢」

朱 建栄（東洋学園大学教授）

討論Ⅰ「北朝鮮の経済改革について」

パネリスト 文 浩一（朝鮮問題研究所）

朴 貞東（仁川大学校）

コーディネーター 中川 茂（西日本新聞社）

討論Ⅱ「6者協議の行方」

パネリスト 李 鍾元（立教大学）

朴 栄濬（韓国国防大学校）

コーディネーター 菅 英輝（九州大学大学院）

◆ 第2回「ビジョンと連帯21」との交流会

日時：2004年7月15日（木）

場所：韓国釜山広域市

釜山の知識人研究交流組織「ビジョンと連帯21」との共催シンポジウム

◆ 第14回大会

日時：2004年9月25日13時30分～17時・26日10時～17時

場所：西南学院大学学術研究所1F 大会議室

第1日午後の部

シンポジウム「感性のグローバリズムー東アジアの感性を考える」

パネリスト

龍 秀美「現代詩の現場からー日・台・韓の現代詩と東アジアの感性」（詩人）

佐島 颯子「韓国漫画と音楽の感性」（福岡女学院大学人文学部助教授）

中尾 智路「東南アジア若手アーティストの感性世界」（福岡アジア美術館学芸員）

柴田 篤「東アジアとキリスト教ー感性の交わる場所」（九州大学大学院教授）

間 ふさ子「侯孝賢・小津安二郎・ホジノ」(九州大比較文化社会学府博士課程)  
コーディネーター

岩佐 昌暲(九州大学大学院言語文化研究院教授)

第2日午前:若手研究者研究報告会

第1報告「中国のFTA戦略」李 洪光(西南学院大学大学院博士後期課程)

第2報告「中国延辺地区の朝鮮語一越境する民族と言語」宮下尚子(九大 COE 研究員)

第2日午後:日韓東アジア学会合同研究会

◆ 日韓東アジア学会合同研究会

前年度は韓国側事情で未開催、年1回交互に開催の原則の下、日本側で開催

第14回大会第2日目午後の部として開催

日時:2004年9月25日13時30分~17時・26日10時~17時

場所:西南学院大学学術研究所1F大会議室

第1報告「グローバリゼーションと同盟ーアメリカの同盟政策に変化はあるのか」

菅 英輝(九州大学大学院比較社会文化研究院教授)

第2報告「韓日国際メガロポリス形成展望と効果」

朴 仁鎬(韓国東アジア学会長)

第3報告「アジアのラテンアメリカ化」

吾郷 健二(西南学院大学経済学部教授)

第4報告「韓国の地方分権モデルー日・韓比較を中心に」

朴 明欽(釜山市議会政策研究室長)

第5報告「徐福は神武天皇か？」

工藤 憲男(西日本経済研究所長)